

巻頭言

日本 ALS 協会北海道支部 支部長
深瀬 和文

立春を過ぎてもまだまだ寒い時期が続きます。またインフルエンザが流行っていますが皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。

先日は協会の仕事である県に行ってきました。感じたことは同じ日本でも自治体が違うことでこんなにも差があることにびっくりしました。まず驚いたことは難病支援センターに行ったときALS患者が相談に来ないので実態の把握が出来ていない事で、行政の縦割りが障がいとなり患者に不利益になっている事が問題です。北海道は保健師が頑張っていると思いますし何より難病連があるので相談には困りません。他の県より恵まれていると思います。何より絆サロンが4月から始まりますので支援体制は充実すると思います。

最後に皆様の健康を祈って終わりにします。